

学校法人駒澤学園 中長期計画

第2次 中期計画

(2019年4月～2024年3月)

【2022年度 行動計画】

学校法人 駒澤学園

凡例

1. 本書は、学校法人駒澤学園第2次中期計画の「2020年度 行動計画」である。第2次中期計画の10の戦略プランごとに、「行動目標」、「将来的展望」に分けて、法人・各設置校・事務局が行うべき「行動計画」を記してある。

2. 本書の用語は、以下のように定義される。

「基本目標」：第2次中期計画で達成すべく設定された到達目標。

「行動目標」：早急に取り組まなければならない課題。

「将来的展望」：長期的な尺度で必要となる施策。

「行動目標」：当該年度に取り組むべき「行動目標」の課題、「将来的展望」の施策。

【全学】：法人・各設置校・事務局に取り組むべき事項。

【法人】：法人が中心となり取り組むべき事項。

【大学】：駒沢女子大学に取り組むべき事項。

【大学院】：駒沢女子大学大学院に取り組むべき事項。

【短大】：駒沢女子短期大学に取り組むべき事項。

【中学】：駒沢学園女子中学校に取り組むべき事項。

【高校】：駒沢学園女子高等学校に取り組むべき事項。

【幼稚園】：駒沢女子短期大学附属こまざわ幼稚園に取り組むべき事項。

【事務局】：事務局に取り組むべき事項。

index

1	一貫した駒女アイデンティティ教育の実践と展開	1頁
2	学生・生徒・園児の確保	2頁
3	教育の充実	6頁
4	研究の充実	9頁
5	学生・生徒・園児支援体制の充実	10頁
6	経営改革	14頁
7	人材の確保と育成	15頁
8	危機管理体制の確立	17頁
9	ステークホルダーとの連携強化	18頁
10	地域連携	20頁

1 一貫した駒女アイデンティティー教育の実践と展開

基本目標 建学の精神・教育理念をもとに全学が連携し、女子総合学園としての一体性を確保する。

行動目標	2022年度の行動計画
1 駒沢学園 (Komajo) らしさの追求	<p>【全学】</p> <p>① 自校教育プログラムの開発と実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 自校教育プログラム検討部会を組織し、建学の精神や本学の伝統を軸とし、本学の法人・教学組織に応じた自校教育プログラム、具現化するツールを構築する。 ▪ 創立100周年に向けて学園史編纂の検討に着手する。 ▪ 時代の趨勢に合わせた学校行事のあり方、周知徹底の方策を検討し実施する。 <p>② 学園が求める教職員像の周知徹底 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 建学の精神及び本学の伝統に基づいた「学園が求める教職員像」を構築し、恒常的に全学的なFD・SD等を通じて周知徹底する。 <p>③ 自校教育プログラムの構築と実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 本学の教学組織の仏教教育を抜本的に見直し、建学の精神や本学の伝統を軸とした全学的なアイデンティティー教育を構築し、実施する。 ▪ 博物館学実習館にて学園史資料の収集、整理、保管、展示を行い、学園の歴史や教育活動の保存・活用を行う。
2 一貫した広報活動	<p>【全学】</p> <p>① 学園・各設置校の教育目的・教育目標の周知徹底 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 教育目的・教育目標の周知徹底の具体的方策を検討し、実施する。 <p>② 各設置校の学内情報共有化による連携強化 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 各設置校と広報部の情報共有を図り、連携強化を進める。 <p>③ 学園諸行事の広報と活性化 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 広報部等関連部署との学園諸行事の告知（ホームページへの掲出、ポスター掲示）の具体的方策を検討し、を実施する。 ▪ 学園諸行事の平易な解説本の刊行の編集に着手する。
将来的展望	2022年度の行動計画
1 自校教育実施による活性化	<p>【全学】</p> <p>① 内部進学率の向上のための中高大の連携強化 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 中高大の連携強化のための仕組みを構築する。 ▪ 自校教育プログラムを推進し、中高大の連携を強化し、内部進学率の向上を図る。

2 学生・生徒・園児の確保

基本目標	各設置校の教育水準を保ちつつ、安定的に学生・生徒・園児の定員を充足する。
-------------	--------------------------------------

行動目標	2022年度の行動計画
1 社会情勢に応じた入試形態の採用	【大学】 ① 人間総合学群の入学者選抜等の見直しと実施 【2022年度の重点項目】 ・ 2022年2月～3月の大学入学共通テスト利用選抜における志願者、合格者、入学者の数を踏まえ、2023年度入学者選抜の対策を検討し、実施する。 ② 人間健康学部の入学者選抜等の見直しと実施 【2022年度の重点項目】 ・ 2022年度学校推薦型選抜（公募制）の実績を踏まえ、2023年度同選抜を実施する。 ③ 看護学部の入試選抜方法の見直しと実施 【2022年度の重点項目】 ・ 2023年度入学者選抜方法を検討し、実施する。 ④ 多様な学生募集のための入学者選抜の見直しと実施 【2022年度の重点項目】 ・ 2023年度総合型選抜Ⅱ期を2022年12月に併願型で実施する。 ・ 入学者選抜において、例年通り障がい者対応を行っていく。 ⑤ 編入学者選抜の見直しと実施 【2022年度の重点項目】 ・ 2023年度以降の入学者確保のため、編入生の専門ゼミを中心とする専門教育課程の学修活動を充実する。 ・ 2021年4月入学の編入生のゼミ担当教員による出身校への訪問について検討する。
	【短大】 ① 保育科の入学者選抜等の見直しと実施 【2022年度の重点項目】 ・ 入学者選抜試験別の数値目標（エントリー数、受験者数）を設定し、具体的な入試戦略を実施する。 ・ 入試広報において、入学者選抜試験の特色（事前作文や自己PR型試験）をアピールする
	【中学・高校】 ① 入学者数増のための入試選抜・入試広報の見直しと実施 【2022年度の重点項目】 ・ 中学への入学者数増のために、以下の事項を実施する。 （1）7月下旬に「夏休みスペシャルKomajoゼミ」（3日間）を実施し、夏休みの自由研究につながる企画を実施する。 （2）中学受験の早期化に対応すべく、2022年5月に中学の入試体験会（プレゼン・英語）を実施する。 （3）2022年7月上旬に、クラブ体験会を実施する。
	【幼稚園】 ① 定員数確保のための見直しと実施 【2022年度の重点項目】 ・ 幼稚園の定員充足のため、2歳児教室の保育内容の充実を図る。 ② 幼児教育の拠点となるための情報発信の取り組み 【2022年度の重点項目】 ・ 幼稚園主催の講演会、短大保育科との連携による企画を実施する。

2 オープンキャンパス等の見直しと実施	<p>【大学】</p> <p>① オープンキャンパスの見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜授業のある私立学校を中心に参加者を増やすため、試験的に日曜日開催オープンキャンパスを2回実施する。 <p>② 入学前交流会の実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度の入学前交流会について、2022年度の実施内容を継続して検討する。 <p>③ 入学前学修の強化 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度入学前教育プログラム（全学共通課題）について、課題内容及びWeb対応による実施について検討する。
	<p>【短大】</p> <p>① オープンキャンパスの見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンキャンパス参加者数を増やすため、実施方法・内容の継続的な見直しに加え、オープンキャンパスの広報活動の拡充を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ② i 教員による体験授業だけでなく、学生スタッフとの共同による、手遊びや造詣コーナーなど魅力ある体験内容の企画・実施 ii 参加者アンケートの収集・分析を通じた内容・方法の見直し iii 卒業生講話等の新規企画の検討・実施 ・ オープンキャンパスの参加者増のため、以下の事項を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 教員の模擬授業だけでなく、学生スタッフとの共同による、手遊びや造形コーナーなど、参加者に魅力ある体験内容を企画し、実施する。 (2) 参加者へのアンケート結果を分析し、オープンキャンパスの内容・実施方法の見直しを適宜行う。 (3) 卒業生の講話等の新たな企画を検討し、実施する。 <p>② 入学前学修の強化 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短大保育科の独自課題の添削回数を増やし、入学前学修の強化を図る。また提出された課題の回答状況、得点などの情報を共有し、新入生の一人ひとりの特性を把握する体制を構築する。 ・ 保育科のサポート教育として実施しているピアノ個人レッスンについて、今後は未経験者、初心者に対するより手厚い指導を実施する。
	<p>【中学・高校】</p> <p>① オープンキャンパスの見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンキャンパス参加者数増のため、7月下旬と9月下旬に、オープンキャンパスの実施時期を変更する。特に、9月23日の祝日に実施する。 ・ オープンキャンパスへの生徒スタッフの動員として、生徒の広報部員による校内建学を実施する。
	<p>【幼稚園】</p> <p>① 入園説明会・見学者対応の見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入園説明会等の新規参加者を増やすための方策を検討し、実施する。 ・ 参加者が安心し、集中できる入園説明会を開催する。

<p>3 広報ツールの見直しと実施</p>	<p>【大学・短大】</p>
	<p>① 学校案内の見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学案内全体のデザイン刷新を図り、編集・構成作業を進める。 ・ 本学の新たな教育の特色について、関連部署と検討に着手する。 <p>② 各学類・学科のホームページの見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <p>大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度に引き続き、本学ホームページの内容を、受験検討者にとってより魅力的となるよう検討を行い、公開をする。 <p>短大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SEOなどの広報対策、保育科instagram、スタディサプリ等の関連ホームページとのリンクにより閲覧者数を増加させる。 <p>③ 高校訪問の見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在学生報告等のための教員による高校訪問の再開について検討する。 <p>④ 出前授業への教員派遣の検討 【2022年度の重点項目】</p> <p>大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の特色を生かし、魅力ある出前授業について検討し、実施する。 <p>短大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校側への出前授業実施についての広報企画を入試センターと共同で検討し、実施する。 ・ 本学保育科の特色を生かし、魅力ある出前授業について検討し、実施する。 <p>⑤ 保証人などのステークホルダーとの連携強化 【2022年度の重点項目】</p> <p>大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンキャンパスの学類・学科説明やキャンパスツアー等において、同行者である保護者を意識した内容について検討し、教員間において共有する。 <p>短大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保証人以外の各ステークホルダー（卒業生、高校進路担当教員、就職園等）に対する中期的な関係構築についての検討を行う。
	<p>【中学・高校】</p>
	<p>① 入試広報ツールの見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校のホームページの閲覧者数増のための方策とホームページの内容的な充実を図る。
	<p>【幼稚園】</p>
<p>① ホームページ・パンフレットの見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園内の業務分担の明確化によるホームページへの迅速な記事掲載を行う。 ・ ホームページで日々の保育の取り組みを公開する。 ・ 未就園児教室の保育内容を積極的に公開する。 	

4 定員充足のための検討	【大学】
	① 人間文化学類・観光文化学類の定員充足のための検討と実施 【2022年度の重点項目】 ・ 人間文化学類・観光文化学類の定員充足のための方策を検討し、実施する。
	【大学院】
	① 大学院仏教文化専攻・臨床心理学専攻の定員充足のための検討と実施 【2022年度の重点項目】 ・ 両専攻の恒常的な定員充足のための方策について継続的に検討し、実施する。
	【短大】
① 短大保育科の定員充足のための検討 【2022年度の重点項目】 ・ 短大保育科の定員充足のために、教員による出前授業と高校訪問を実施する。	
【中学】	
① 中学校の定員充足のための検討 【2022年度の重点項目】 ・ 単元別試験に加え、単元別まとめ試験を導入し、学力向上を図る。 ・ グローバル教育の取り組みとして、中国語、韓国語、フランス語の選択科目を導入する。	
将来的展望	2022年度の行動計画
1 多様な学生を確保するための検討	【大学・短大】
	① 生涯学習プログラムの検討 【2022年度の重点項目】 ・ 建学の精神、仏教主義や大学・短大の各学類・学科・科の特色を生かした生涯学習プログラムについて、検討する。
	【中学・高校】
① 正課以外の学習指導体制の検討 【2022年度の重点項目】 ・ 2022年度と同様に、英検フェスティバルなど、本校への受験者数を増やすイベントについて検討し、企画する。	

3 教育の充実

基本目標 各設置校の段階に即した基礎教育と、学生・生徒の意欲・要望に応じた教養・専門教育を実施する。

行動目標	2022年度の行動計画
1 教育の質の向上	【大学】 ① 内部質保証の体制の実施と改善 【2022年度の重点項目】 ・ 全学的な内部質保証の周知徹底を図る。 ・ 各学群・学類、学部・学科単位の自己点検評価の運用方法を検討し、実施する。 ・ 学外者による定期的な外部評価体制を確立する。 ② 教育の質を保証するための仕組みの整備と実施 【2022年度の重点項目】 ・ 卒業生に対する学修到達度確認結果の個別フィードバック方法を検討し、実施する。 ・ 外部機関の資格検定試験等による学修効果の確認と検証方法を検討し、実施する。 ・ 駒沢女子大学教科書シリーズの将来的な運用について検討する。 ③ 教育改革の推進 【2022年度の重点項目】 ・ 教養科目の課題点を確認し、抜本的な改革に着手する。 ・ 人間総合学群の定員充足に向けた教育組織のあり方を検討する。
	【短大】 ① 内部質保証の整備と実施 【2022年度の重点項目】 ・ 短大保育科の内部質保証のための外部評価委員による評価を実施する。 ・ 内部質保証のための取り組みの検証を行う。 ② 教育の質を保証するための仕組みの整備と実施 【2022年度の重点項目】 ・ 学生一人ひとりの特性を把握するなど、学生把握による教育の質向上を行う。 ③ 学生の基礎学力強化のための取り組み強化 【2022年度の重点項目】 ・ 保育科の根幹となっているピアノについて、未経験者、初心者への手厚い指導を行う。 ④ 教育改革の推進 【2022年度の重点項目】 ・ 外部評価の実施とともに、進学時の個別指導や実習参加基準の活用など、GPA制度の具体的運用について検討する。 ・ 医療的ケア等を必要とする子どもの保育に関する科目の開設について検討する。
	【中学・高校】 ① 教務研修会（外部講師を含む）・教員研修会の実施 【2022年度の重点項目】 ・ 教務研修会に、「主体的に学習に取り組む姿勢」「学習評価」の教員スキルアップを図る。 ② 教育の質の保証のための仕組みの整備と実施 【2022年度の重点項目】 ・ 生徒による授業アンケートの結果をふまえ、担当教員の検証を行い、保護者・生徒へのフィードバックについて検討し、実施する。

	<p>【幼稚園】</p> <p>① 時代に応じた教育課程の再編成と教職員の共通理解の促進 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短大保育科教員・副園長との協力による個別の保育内容の改善を行う。 ・ 園内保育研修として、公開保育を実施する。 ・ 教職員の個別面談を実施する。 ・ 他園の公開保育に参加する。 <p>② 外部研修参加の促進とその報告会の実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の教育の質の向上のため、外部研修会への参加と報告会を実施する。 <p>③ 自己評価と外部評価の実施による園保育の質の向上 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的な外部評価に向けて、カリキュラム・マネジメントを行い、教育課程・長期指導計画・短期指導計画の作成を弾力的に行う。
<p>2 柔軟性のある教育プログラムの構築</p>	<p>【大学】</p> <p>① 多様な学生の受け入れの検討と実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学前課題（全学共通プログラム）について、継続学修が可能なe-ラーニング等の教材の導入などを検討する。 ・ 「基礎学力テスト」について、テスト実施の意義について受験する学生する周知徹底と、今後は就職を見据えた教材等の導入について検討する。 <p>【短大】</p> <p>① 多様な学生の受け入れの検討と実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度入学者に対して、漢字練習、課題調査、ペン習字の入学前課題を実施し、「KOMAJO 0学期」としてピアノ指導を行う。 <p>② 志願者・入学者増のための保育科の外部開放 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSの継続的な投稿による情報公開の充実を図るため、教員による投稿に加え、学生広報委員会を設置し、学生主体での情報公開体制を整備し、実施する。 <p>③ 保育現場のグローバル化への対応 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語教育の充実、医療的ケア等を必要とする子どもの保育に関する科目の開設について、検討する。 <p>【中学・高校】</p> <p>① 多様なニーズに応える教育と新しい教育プログラムの実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の学習内容を見直し、ブラッシュアップを実施して、よりよい授業の実施を目指す。また21世紀ワールドスタディーズとして、韓国語・中国語・フランス語の授業を導入する。 <p>② ICT教育の実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT環境の設備充実とiPadを利用し同時双方向型アクティブラーニングを実施する。 ・ 情報科教員による教員・生徒対象のリテラシー教育を充実する。 <p>③ グローバル教育の充実 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の学力試験対策等の実施し、さらに学習習慣を定着させ、英語の学力向上を図る。

	<p>【幼稚園】</p> <p>① 年間保育プログラムの見直しと実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季休暇中の保育の実施について検討する。 ・ あそびを中心としたカリキュラムの見直しを行う。
将来的展望	2022度の行動計画
1 IT教育の充実	<p>【大学】</p> <p>① ICT教育環境の整備の検討 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google Workspace for Educationを活用した本学のICT教育のあり方について検討する。 ・ KOMAJOWiFi（公衆無線LAN）の運用や本学のICT教育のあり方を検証し、無線WiFiの本格導入のための方策について検討する。 ・ 本学のICT教育に対応すべく、学生のPC所持率の向上を図る。
	<p>【短大】</p> <p>① 学生のパソコン技能向上のための教育の充実 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学修環境のデジタル化とICT機器の総操作方法、各種アプリケーションの活用方法等の学生及び教員のICTスキルアップのための学修支援を行う。
	<p>【幼稚園】</p> <p>① ICT環境の整備による保育内容の充実 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WiFi環境とICT機器を整える。
2 グローバル教育の充実	<p>【大学】</p> <p>① 現代社会のグローバル化に対応した教育の検討 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本社会が多様化する中で、他者を受け入れ共に生きることのできる学生を育てるという意味での「グローバル教育」のあり方について検討する。
	<p>【短大】</p> <p>① 現代社会のグローバル化に対応した教育の検討 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外研修の実施形式（渡航・オンライン）を柔軟に設定可能とするなど、より多くの学生に機会提供が可能となるように、海外研修のあり方を抜本的に見直す。 ・ 海外研修とは別に、諸外国の保育事情を学修する授業科目の開設を検討する。
	<p>【幼稚園】</p> <p>① 異文化理解のための保育の充実 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異文化理解に関わるカリキュラムについて検討する。
3 国際貢献できる人材の育成	<p>【大学・短大】</p> <p>① 国際貢献できる人材の育成の検討 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の国際交流や国際貢献のあり方について、抜本的に見直す。

4 研究の充実

基本目標	社会に評価され、教育に資する最先端の研究を推進し、そのための環境を充実する。
-------------	--

行動目標	2022年度の行動計画
1 学内の研究体制の再編成と活性化	【大学】 ① 学内研究体制の再編と新たな研究体制の検討 【2022年度の重点項目】 ・ 研究成果を集約・検証し、専任教員の研究を活性化させる方策を検討する。 ・ 学内の研究活動を集約し、本学の特色を生かした共同研究を検討する。 ・ 公的研究の明確化及び私的研究の取り扱いについて検討する。
	【短大】 ① 研究成果の学内共有化と発信 【2022年度の重点項目】 ・ 研究成果を集約・検証し、専任教員の研究を活性化させる方策を検討する。 ・ 研究成果の学内共有と学外への発信力を高め、教員の研究活動及び保育者養成の特色を生かした共同研究等を活性化する。
2 中高幼の教育研究・研修の充実	【中学・高校】 ① 教務研修会（外部講師を含む）・教員研修会の実施 【2022年度の重点項目】 ・ 中高の学校改革等に関する教務研修会・講演会を開催し、中高の教員の教育研究活動の充実を図る。 ・ 教務研修会・講演会の効果について、検証する。
将来的展望	2022年度の行動計画
1 国際的学術交流の見直し	【大学】 ① 国際的学術交流の見直し 【2022年度の重点項目】 ・ 国際的学術交流の活性化のため、学内研究費・国際交流費支給制度・在外研究員制度を見直し、今後の国際的学術交流の方針、実施体制等を検討する。
	【短大】 ① 国際的学術交流の推進 【2022年度の重点項目】 ・ 専任教員の国内外開催の国際的学会への参加の制度等について見直し、今後の国際的学術交流の方針、実施体制等を検討する。
2 学内研究助成の見直し	【大学】 ① 学内研究助成の運用に関する検討 【2022年度の重点項目】 ・ 学内の研究費の運用について抜本的に見直し、学内研究費の運用を改善する。 ・ 学長裁量経費の運用について抜本的に見直し、学長裁量経費の運用を改善する。
	【短大】 ① 研究助成のための枠組みづくりの検討 【2022年度の重点項目】 ・ 学内の研究費の運用について抜本的に見直し、学内研究費の運用を改善する。 ・ 学長裁量経費の運用について抜本的に見直し、学長裁量経費の運用を改善する。

5 学生・生徒・園児支援体制の充実

基本目標	学生・生徒・園児の学修（習）、生活、進路、情報環境について、思いやニーズに合った支援システムを充実する。
------	--

行動目標	2022年度の行動計画
1 学修（習）環境支援の充実	<p>【大学・短大】</p> <p>① 学生の能力に応じた補習教育・補充教育の実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学修支援センターの指導員について、国語、数学、英語、社会、理科の担当者配置する。 ・ 資格・検定について、実施資格、実施回数を限定し、資格・検定の対策講座を実施し合格率を向上する。 ・ 教職課程の支援について、教職課程委員会と連携し、支援体制の充実を図る。 ・ 利用学生からの報告・感想等について、ホームページ等で掲載し、本センターの全学的な周知を図る。 ・ 入学前教育プログラム（全学共通課題）、（専門課題）について、体裁（WEBか、課題冊子）、中身（問題内容等）を含めた抜本的な見直しを行う。 <p>② 多様な学生（社会人・留学生・障がいのある学生）に対する学修支援 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生の避難場所周知のため、避難訓練の実施を検討する。 ・ 障がいのある学生への支援として、障がいの状況に応じた学内への施設・移動機材等を充実させる。 <p>③ 学生の就学状況の把握と留年・退学の防止 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【学生支援】 新型コロナウイルス感染拡大防止策を勘案し、GWEやKOMAJOポータルのスチューデントプロフィール等ICTツールを活用し、学生支援の学内連携・情報共有を進める。 ・ 【奨学金体制】 学生支援課を中核部署とし、大学・短大の奨学生選考委員会と緊密に連携を図り、修学支援新制度、奨学金体制の円滑なる運用を行う。 <p>④ 学生への経済的支援体制の充実 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【高等教育の修学支援新制度】 「高等教育の修学支援新制度」の対象機関としての認定を継続させる。 ・ 【本学独自の経済的支援】 在学生スカラシップ制度の運用と、本学独自の新たな経済的な学生支援のあり方を検討する。 <p>⑤ 図書館の学修環境の改善 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館のラーニングコモンズとしての学修環境の機能拡充にむけて、他大学の図書館の同機能の調査を行い、検討する。

⑥ 地域産業界等と連携した実践的PBL（課題解決型学習）の実施

【2022年度の重点項目】

- ・ 稲城市と具体的な地域連携について方策を検討し、参画する。
- ・ 観光文化学類を中止とする取り組みとして、観光資源調査、市場調査、企画書作成、アポイントメント、取材・撮影、編集・制作などを実施し、具体的目標を定め、マーケティング活動を主体的に学修する内容を計画する。
- ・ 住空間デザイン学類の取り組みとして、2022年度には以下の事業を実施する。
 - (1) コマジヨスタイル2022
連携企業：株式会社東都
概要：賃貸住宅住戸内装のデザインパッケージ提案
実施時期：2022年9月～2023年1月
 - (2) (仮) 飲食店舗デザイン計画
連携企業：株式会社ふく家（東京都稲城市）
概要：東京都町田市に新規出店予定の飲食店舗内装のデザイン提案
- ・ 健康栄養学科の取り組みとして、実社会でのスポーツの各場面で、栄養サポートを実践的に学ぶプロジェクトを広げることを実施する。

⑦ 学生の要望に対応した学修支援の実施

【2022年度の重点項目】

- ・ 授業評価アンケート、卒業年次アンケートを実施し、各部門での検討結果をホームページで公開する。
- ・ 授業評価アンケート、卒業年次アンケートを参考にし、学生サポート体制を改善する。

【中学・高校】

① 校内の学習環境の整備

【2022年度の重点項目】

- ・ 進路指導室の学習環境を整備する。

② クラブ活動の充実

【2022年度の重点項目】

- ・ 学校行事（体育祭、りんどう祭、合唱祭）について、コロナ禍での実施に配慮した予算の見直し等を行う。

③ 個人面談の充実

【2022年度の重点項目】

- ・ 2022年4月～5月に生徒面談、長期休み前に3回個別面談を実施する。

【幼稚園】

① 保育教材等の物的環境の整備強化

【2022年度の重点項目】

- ・ 保育室中心とした床や内装などの修繕を行う。
- ・ 園庭固定遊具の交換を行う。

② 短大保育科との連携による保育内容の充実

【2022年度の重点項目】

- ・ 短大保育科との連携により、園の保育内容を充実する。
- ・ 短大保育科の教員・学生の受け入れ体制を改善する。

③ 多様な園児・保護者への支援体制の充実

【2022年度の重点項目】

- ・ 特別に支援が必要な園児・保護者、多様な文化的背景のある園児・保護者への支援を充実する。

2 生活環境支援の充実	【大学・短大】
	<p>① 学生支援体制の強化 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担任・学生支援関連部署等の連携を強化し、適切、かつ迅速なる学生支援体制を進展する。 <p>② ハラスメント防止のための施策検討・啓発 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハラスメント防止および適切な対応のための体制を維持する。 ・ 全教職員へのハラスメント防止の注意喚起を行う。 <p>③ 学生の心身の健康、保健衛生及び安全確保 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生相談室へのカウンセラー人員検討と保健室への常勤看護師を配置する。 ・ コロナ禍の学生の安全と健康を守るための支援を行う。 <p>④ 学生の正課外活動（部活動、ボランティア等）を充実させるための支援の実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での学生の正課学外活動が安全に行えるための支援を行う。 ・ 学生主体のボランティア活動が行える仕組みを検討し、実施する。 <p>⑤ 学生の要望に対応した学生生活支援の実施 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生から寄せられた要望を精査・検討の上、実現可能なものから実施する。
3 学生・生徒の進路に関する支援の実施	【幼稚園】
	<p>① 幼稚園備品等の物的環境の整備強化 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもが安心して過ごすための、人的環境と物的環境の整備を行う。
4 情報環境支援の充実	【大学・短大】
	<p>① 進路選択に関わる学生支援の充実 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後期セミナーの設定時期を再考する。履歴書全員提出に関しても、時期、回数を再考する。 ・ 学務上、家庭環境上、学生がZOOM、Meetでのオンラインでの企業面接等に対応できるための就職支援を行う。 ・ 就職活動に関するルール変更に対応した就職支援を行う。
	【幼稚園】
<p>① 事務作業効率化のための園のICT環境整備 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学園ネットワークシステムとの連携を検討し、実施する。 ・ 事務システム・ドコモンの円滑な運用を行う。 ・ 教職員のパソコンのスキルアップと保育にICT教材を導入し、活用する。 	

将来的展望	2022年度の行動計画
1 特色ある支援体制の確立	【大学】
	① テーラーメイド教育による総合的学修支援の充実 【2022年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の学修状況に対する影響や遠隔授業による利点などを整理し、今後の大学・短大の教育のあり方について検討する。
	【短大】
	① 実習園と連携した学生の学修機会の提供 【2022年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習連絡懇談会を開催し、実習園との連携強化を図る。 ・ 学校体験活動を新設し、学校体験活動と教育実習の連続性と学修成果の検証を行う。
【幼稚園】	
① 幼稚園の保育内容の充実のための大学・短大・事務局との連携強化 【2022年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、大学・短大・法人との将来的な連携のあり方について継続的に検討する。 	

6 経営改革

基本目標	教職員のコスト意識を向上させ、単年度ベースでの収支バランスの均衡を期間内に達成する。
-------------	--

行動目標	2022年度の行動計画
1 経営ガバナンスの強化	【法人】
	① 前年度実績に基づいた事業計画の策定と実行 【2022年度の重点項目】 ・ 各部門責任者の管理のもと、2023年度予算申請について更に厳格に行い、真に必要な支出に対して予算を手当出来るようにする。 ② ガバナンス・コンプライアンス体制の強化 【2022年度の重点項目】 ・ 既存規程をはじめ、2022年度改正関係法令案（2022年4月施行「育児・介護休業法」、同年10月施行「短時間労働者の社会保険適用のルール」）に適応した諸規程を整備する。 ③ 内部監査の適正なる運用 【2022年度の重点項目】 ・ 公的研究費の管理・監査のガイドラインに従い、科研費の執行を厳格に実施する。
2 財務状況の改善	【法人】
	① 人件費の抑制 【2022年度の重点項目】 ・ 人件費抑制効果のある方策について、再検証する。 ② 財務分析の実施による財務状況の改善 【2022年度の重点項目】 ・ 各部署との予算折衝によらない経常的経費（支出全体の5%強）の削減に向けて、コスト意識を醸成すべく教職員に周知徹底する。 ③ 予算編成におけるヒアリング強化 【2022年度の重点項目】 ・ 異動等により責任者が変わる場合の引き継ぎもれが無いよう、2022年度予算額通知の際に、示達する。
将来的展望	2022年度の行動計画
1 学内施設設備の改修・更新の 年次計画策定	【法人】
	① 中長期にわたる学内施設設備の修繕年次計画の策定 【2022年度の重点項目】 ・ 修繕計画（案）作成後に計画内容の検証を実施し、資金計画を策定する。

7 人材の確保と育成

基本目標	学園の永続的発展のため、有能な人材の適切な年代構成に配慮した採用及び育成システムを構築する。
-------------	--

行動目標	2022年度の行動計画
1 教職員の意識向上と育成	【法人】 ① 全学的なFD・SD活動の活性化 【2022年度の重点項目】 ・ SDフォーラム参加者の増加のため、各部署に周知・徹底する。 ・ 私学労務・定例セミナー、労務相談を通して職員の知識レベルのさらなる向上を図るために、一般社団法人私学労務研究会に加入する。 ② 人事評価の評価基準等の見直しと実施 【2022年度の重点項目】 ・ 公平な評価のための共通した評価項目シートを作成、運用、面談、評価のため、評価者研修会を実施する。 ③ 大学・短大の専門業務型裁量労働制の導入 【2022年度の重点項目】 ・ 打刻システムによる打刻を徹底する。 ・ 勤務予定表による勤怠管理による労働安全衛生法上の労働時間管理を継続する。 ・ 研修日の定義について、明確化する。
	【大学・短大】 ① 適正かつ計画的な教員の配置 【2022年度の重点項目】 ・ 大学人間総合学群の教員一人当たりの学生数から生じる問題について分析し、改善する。 ・ 大学・短大の将来的展望を見据えた教員の計画的な配置について検討する。
	【中学・高校・幼稚園】 ① 教員の資質向上 【2022年度の重点項目】 ・ 教員研修会・教務研修会を実施し、教員のスキル・資質の向上を図る。
2 適切な人材確保と配置	【事務局】 ① 事務局の適切な人材確保の制度の整備 【2022年度の重点項目】 ・ 新規採用計画について構築する。 ・ 定着率、資質向上のため新入職員研修を導入する。 ② 事務局各部署の職員配置の見直しと業務の効率化 【2022年度の重点項目】 ・ 新たな事務体制のもと、業務の効率化、教職協働体制の検証及び進捗状況を把握し、更なる適正な人事配置、事務体制を図る。 ③ ジョブローテーションを意識した事務局職員の配置 【2022年度の重点項目】 ・ 部署間でクロスしている業務について、共有情報を一本化して一元管理できるよう業務効率化を進めていく。 ・ 新規採用職員について、新卒4年目を目途に異動を検討する。
	【大学・短大】 ① 教育内容等に応じた適正な教員の採用と配置 【2022年度の重点項目】 ・ 大学・短大の各学類・学科・科の教育方針に基づき、教育の充実が図れるための効率的、かつ計画的な教員配置を検討し、実施する。

	【中学・高校】
	① 生徒数・教育内容に応じた適正な教員の採用と配置 【2022年度の重点項目】 ・ 中学校の教員の人事配置の変更と新任教員への研修を実施し、即戦力となる人材育成を行う。
	【幼稚園】
	① 園児数・保育内容に応じた適正な教員の採用と配置 【2022年度の重点項目】 ・ 特別支援の幼児に対する加配教員と退職にともなう正規職員の補充を行う。
将来的展望	2022年度の行動計画
1 専門性・創造性・自主性を備えた 職員の育成	【事務局】
	① アドミニストレーターの育成 【2022年度の重点項目】 ・ SDフォーラム参加を促すための方策を検討する。
2 職務に応じた給与体系の確立	【法人】
	① 給与体系の抜本的な見直し 【2022年度の重点項目】 ・ 改めて「職務内容・業務体系の洗い出し、整理」を行うと共に、「人事評価制度の検証」を行う前提として各部署の目標設定と管理監督者と1on1の実施など個人と部署の関係性の強化を行う。

8 危機管理体制の確立

基本目標	学園生活において、安心、安全を保つため、想定されるあらゆる危機に即応できる管理体制を整える。
------	--

行動目標	2022年度の行動計画
1 リスクマネジメント体制の強化	【法人】
	① 防災マニュアルの見直しと全学的・恒常的な避難訓練の実施 【2022年度の重点項目】 ・ 全学的な防災意識向上のためマニュアルの見直しを実施する。 ② 多様な情報社会に対するセキュリティーシステムの管理体制の見直し 【2022年度の重点項目】 ・ 学生への災生時における安否確認ツールの導入に合わせ、教職員のツールの導入を検討する。 ③ 改正著作権法への対応と実施 【2022年度の重点項目】 ・ SARTRASとの法人契約を行い、短大保育科の利用報告を行う。
2 教職員の安全衛生管理の推進	【法人】
	① 教職員の安全衛生管理意識の向上 【2022年度の重点項目】 ・ 安全衛生委員会を定期開催する。 ・ ストレスチェック未受診者に対する受診促しによる受信者10割必達する。 ・ 普通救命講習受講者を未受講者を0にする。 ・ 労働時間の適正把握⇒打刻システムと勤務予定表の併用、既存勤怠システムの運用見直し、労働時間の適正把握に努める。またシステム項目変更やリプレイスも検討する。 ・ 定期健康診断受診者数を恒常的に10割必達する。 ・ e-clocking運用による大学・短大専任教員勤怠管理を行う。
将来的展望	2022年度の行動計画
1 災害時の地域連携の検討	【法人】
	① 災害時における地域との連携の検討 【2022年度の重点項目】 ・ 災害時における地域住民の避難場所として想定した実地訓練を検討する。
2 危機管理に関する委員会の整備	【法人】
	① 危機管理に関する委員会の再編と関連諸規程の見直し 【2022年度の重点項目】 ・ 危機管理マニュアル、及びハラスメント規程を改訂する。

9 ステークホルダーとの連携強化

基本目標	ステークホルダーである卒業生及び保護者から信頼される、開かれた学園にする。
-------------	---------------------------------------

行動目標	2022年度の行動計画
1 同窓会の組織再編と活性化支援	【大学・短大】
	① 同窓会組織の再編と活動支援体制の構築 【2022年度の重点項目】 ・ 2022年度は従来のスタイルとは違う、学園との卒業生の関わりを維持できる同窓会組織について検討する。またその基盤となる同窓生の名簿の完備を進める。
	【中学・高校】
	① 明星会の活動の活性化 【2022年度の重点項目】 ・ 新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、少しずつ会員との連携を図り、活動を再開する。
2 卒業生との連携強化	【幼稚園】
	① 幼稚園同窓会組織の整備と情報発信 【2022年度の重点項目】 ・ 学生・生徒募集のため、卒園生名簿を作成する。
	【大学・短大】
3 保護者との連携強化	① 卒業生とのつながりを維持するための行事の実施 【2022年度の重点項目】 ・ 2022年度は、コロナ禍での同窓会活動や同窓生と本学との関係を密接にするための方策を検討し、実施可能なものから実施する。
	【幼稚園】
	① 卒園生との連携強化 【2022年度の重点項目】 ・ 卒園生との連携強化の意義・利点、卒園生との連携強化を図るための方策を検討する。
3 保護者との連携強化	【大学・短大】
	① 連携行事・相談会等の実施による保護者との連携強化 【2022年度の重点項目】 ・ 保護者との連携強化の意義・利点を検討する。
	【幼稚園】
3 保護者との連携強化	① 保護者と園の連携強化 【2022年度の重点項目】 ・ 保護者と園の連携強化のための方策を検討し、実施する。

将来的展望	2022年度の行動計画
1 駒沢学園同窓会組織の確立	<p>【法人】</p> <p>① 一元化された同窓会組織の確立（大・短・高・中・幼） 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度は、コロナ禍での同窓会活動の活性化のため、各設置校の同窓会共催講演会をインターネットでは配信するなど、コロナ禍における本学と同窓生の結びつきを強めるための活動について検討していきたい。 <p>② 帰属意識を高めるための情報発信ツールの確立 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度は、同窓会の組織の活性化のための講演会や、博物館学実習館での学園史展などの再開に向けて、関係部署と協議をしていきたい。
2 同窓会事務及び集える場所の整備	<p>【法人】</p> <p>① 一元化された同窓会事務局の確立（大・短・高・中・幼） 【2022年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度は、学園創立100周年に向けて、本学の一元化された同窓会の組織の整備について、課題を抽出していきたい。

10 地域連携

基本目標 総合学園としての資源、機能を生かし、地域のニーズに即した発信型の地域連携を展開する。

行動目標	2022年度の行動計画
1 地域連携の推進	【大学】 ① 学外組織との適切な地域連携の推進 【2022年度の重点項目】 ・ 本学の特色を生かした地元自治体・企業との産官学連携の事業を進展する。 ② 学園の資源、機能を生かし、地域のニーズに即した発信型の地域貢献 【2022年度の重点項目】 ・ 本学の特色や専門分野を生かした新たな地域貢献活動を展開する。 ③ 地域交流・地域の国際交流事業への学生参加 【2022年度の重点項目】 ・ 学生主体とするボランティア組織と地域連携のための学内組織を整備する。 ・ ボランティアに対する本学の方針と責任の明確化と活動費用の予算化を検討する。 ・ 地域の要望に応じた学生のボランティア活動を充実する。
	【短大】 ① 地域交流・地域の国際交流事業への学生参加 【2022年度の重点項目】 ・ 学生主体とするボランティア組織と地域連携のための学内組織を整備する。 ・ ボランティアに対する本学の方針と責任の明確化と活動費用の予算化を検討する。 ・ 地域の要望に応じた学生のボランティア活動を充実する。 ・ 子どもの遊び場提供ボランティアの継続的な実施とともに、新たに子どもに関する近接領域（看護・健康・保育）が連携したボランティア活動を実施する。
	【中学・高校】 ① 中高の特色を生かした地域連携 【2022年度の重点項目】 ・ 中学の地域ボランティア清掃を実施する。 ・ りんどう祭の花火について、実施する。 ② 中高の生徒募集と地域連携 【2022年度の重点項目】 ・ 積極的にオンラインを活用し、外部発信を強化する。
	【幼稚園】 ① 幼稚園の特色を生かした地域連携 【2022年度の重点項目】 ・ 教育支援を目的とした地域教育懇談会との連携強化を図る。
	【全学】 ① 全学的な地域連携体制づくりのための検討 【2022年度の重点項目】 ・ 地域連携部門の設置について検討する。
	【幼稚園】 ① 幼児教育の拠点としての体制づくりのための検討 【2022年度の重点項目】 ・ 幼稚園の特色や実績を分析し、幼児教育の拠点としてどのような役割を担えるか検討する。
将来的展望	2022年度の行動計画
1 地域連携の組織づくり	【全学】 ① 全学的な地域連携体制づくりのための検討 【2022年度の重点項目】 ・ 地域連携部門の設置について検討する。 【幼稚園】 ① 幼児教育の拠点としての体制づくりのための検討 【2022年度の重点項目】 ・ 幼稚園の特色や実績を分析し、幼児教育の拠点としてどのような役割を担えるか検討する。

学校法人駒澤学園 中長期計画

第2次 中期計画

(2019年4月～2024年3月)

【2022年度 行動計画】

学校法人駒澤学園

2022年4月1日